

校長室だより

第11号

柏原市立柏原中学校
校長 石田 智
令和8年1月9日（金）発行

新年あけましておめでとうございます。昨日8日（木）より3学期をスタートしました。保護者の皆様方におかれましては、旧年中より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年の干支の「午（馬）」は前へ前へと駆け抜ける力強い生き物であります。本校も馬のように力強く前進する1年であるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。本年も引き続きよろしくお願いいたします。

○3学期始業式

1月8日（木）、体育館にて始業式が行われました。約2週間ぶりに元気な生徒たちと集うことができました。

（校長の式辞より）

ー昨年（2024年）の元日に発生した大きな出来事を皆さんは覚えているでしょうか。そうです。能登半島地震です。あれからちょうど2年が経ちました。皆さんは、最近のニュースで被災地の様子を目にする機会が減ったと感じませんか？「喉元（のどもと）過ぎれば熱さを忘れる」という言葉があるように、我々は苦しいことも、過ぎ去ってしまえばその辛さを忘れてしまう、あるいは、自分に関係のないと思ったことはすぐに意識から薄れてしまいがちです。しかし、報道が減ったからといって、復興が完了したわけではありません。調べてみますと、昨年末の段階で、未だ仮設住宅に住んでおられる方は1万3335人で、自治体が賃貸住宅を借り上げて被災者に提供する「みなし仮設」への入居者を含めると1万8329人にもなるそうです。つまり、未だかつての日常を取り戻せず、辛い思いをされている方がこんなにたくさんおられるということでもあります。

見えないところに思いを馳せること。「ニュースになっていないけれど、今どうなっているんだろう？」と想像力を持つこと。これこそが、これからの社会を生きていく上で、とても大切な「心の力」です。私たちも、決して忘れることなく、自分たちにできる応援や、防災への意識を持ち続けましょう。つい先日も島根・鳥取県で震度5強の大きな地震もあったところです。「当たり前の日常」がどれほど尊いものか、そして、いつ何が起こるかわからない時代に私たちが生きていることを、改めて胸に刻む必要があると思います。

大切な力ということで、併せて考えてほしいことがあります。

生成AIの進化は、目まぐるしいスピードで進んでおり、今や、スマートフォン一つあれば、誰でも瞬時に「答えらしきもの」を手に入れられる時代になりました。しかしこれは生成AIが考えを巡らせているのではなく、あくまでも膨大な情報の中から「答えらしきもの」を生み出しているにすぎず、時に「ハルシネーション」と呼ばれる、事実とは異なる情報をもっともらしく作り出してしまうという現象も起こっています。だからこそ、これから必要とされるのは「あなた自身がどう考えるのか」「あな

たはどう感じるのか」という、人間ならではの力なのです。先ほど述べた「想像力」と同様に、自分自身で物事をしっかり向き合い「考える力」も大事にしてほしいと思います。

さて、本日より3学期が始まりますが、先この3学期は「次の学年の『0（ゼロ）学期』」でもあります。陸上競技に例えるなら、「助走」の区間です。今のうちにどれだけ良い助走をつけて、スピードに乗った状態で4月を迎えられるか。それが、来年度の皆さんの飛躍を決めると 생각합니다。この3学期が、来年度につながる充実した日々になることを期待しています。

○環境美化委員会・保健委員会コラボ企画

昨年度より生徒会や専門委員会同士でコラボレーションしてキャンペーンを行うことが出てきましたが、2学期末12月16日（火）の放課後、環境美化委員会と保健委員会のコラボ企画として手洗いの清掃を行いました。生徒たちは水が冷たいのをものともせず、スポンジやたわしにクレンザーをつけながらゴシゴシと磨いていきました。少しでも楽しく作業をしようということで、全員がサンタクロースの帽子やトナカイの角をかぶって行ったこともあり、真面目ながらも笑顔あふれる活動となっていたのが素晴らしいかと思います。今回の活動を通して委員会同士で更に連携を進め、生徒たちの主体的な活動で学校をよりよくしていったほしいと思います。環境美化委員会と保健委員会の皆さん、そしてボランティアで参加してくれた皆さん、本当にお疲れさまでした。



○牛乳のストローレスの取り組み

これまで給食の牛乳には全員ストローを付けていましたが、環境のことを考え2学期よりストローレスに取り組んでいます。一つひとつは小さなものですが、毎日となると膨大な量となりますので、現在は基本的に必要な人だけに配付するようにしています。ストローなしで飲むのは慣れるまで少し抵抗はあるかもしれませんが、牛乳パックも簡単に手で開けられるような仕様に変更されていますので、引き続きご協力お願いいたします。

